

# メルヘンハウス通信

## 今月の和とく情報

### 夏のお呼ばれ

日本の夏、蒸し暑くて着物を着るのは大変だと多くの方が思うのですが、クーラーも何もない時代から日本女性は夏でも着物で過ごして来たのですから、決して着られない訳ではありません。四季に合わせた素材もあります。夏の装いこそ素敵と思われるので、着物を着る機会を積極的に取りいれてみましょう。きっとメリハリのあるお洒落が楽しめることでしょう。

## これからの和とくポイント

### 着物の種類について

夏は着物を着る機会が少ないのでどんな着物を用意したらよいかということになります。普段のものはさておき、ここではお呼ばれの時に何を着たら良いのかを焦点絞って考えると、訪問着をお作りすることをお勧めします。

つまり、ここ一番という7月や8月のパーティや結婚式にお召しになることならよそ行きの訪問着があれば大安心です。夏に呼ばれますと、さあ何を着て行こうかと悩む方も多いです。

ご存知のように着物姿は、エレガントでもあり豪華でありお集まりの会場を華やかに彩り、主催者も大変喜ばれます。

夏の着物は沢山は揃えなくても、素敵な訪問着があれば先ずは大丈夫でしょう。どんなパーティでも結婚式でも何を着ようかと言う心配もなくなります。長く着られる訪問着にご紋でも付いていれば尚、良いことですね。夏の集まりは避けたいなどと思わずに、気に入った正装をお持ちになることを提案したいと思います。

昨今は結婚式の会館やホテルの都合で、お客様を呼ぶ方の方々が冬場の結婚式の装いとなり、冬ものを使う事が多くなっています。お呼ばれの方達はどんな装いでいったらよいかと迷い、相談されることも多いです。

その結果まちまちの装いで、冬と夏が入り混じった装いが会場で混在しています。

ホテルや会館では、夏の着物は生地が薄く貧弱だから冬の着物と言われるそうですが、もともと特に正装の夏ものが衣裳部に少ないので、そのため主催者に合わせなくてはまずいと夏でも冬物を着るという珍現象が起るのです。主催者はともかく、呼ばれるお客様は家から着物を着てでかけるのですから、真夏に冬物を着ていくというわけには参りません。

昔から日本には夏には夏の正装も存在し今のようにクーラーがなくてもきちんと着物を装っていた暮らしがありました。ですから社交着としての位置で着物生活を楽しみたいのであれば、着物好きな皆様には見識を持って盛夏には夏の正装で、どんな集まりにでもお出かけ下さい。

さらに小物も夏の素材と言うことをお忘れなく、涼やかにエレガントに装って楽しみましょう。

夏の着物姿は格別に美しい人に見えます。

素敵な素材は夏に多くあります。

夏を恐れず着物でお出掛けしようと考えて下されば嬉しい事です。



今日もきもの気分

## やしま呉服店からのお知らせ

### 7月の催事・イベント

- ◎知っとこ講座...1日(土) 8日(土)
- ◎月1キャンペーン...8日(土)~23(日)
  - ・きもの診断:通常より30%OFF
  - ※詳細はご案内ハガキまたはお店までお問い合わせください

### カルチャー

- ◎ポーセラーツ教室...20日(木)
- クラフトカゴ&バッグ作りもしています♪



### さくらきもの学院

6月開催「たくみの会」は和ソーイング「つまみ細工」の作成と着方のおさらいがありました。ご参加下さいました方からの感想も達成感があった内容でした♪また次回をお楽しみに(^\_^)

- ◎たくみの会...8月20日
- おわら風の盆・キモノの講座

### レッスンのお申込受付ます♪

- ・マンツーマンレッスン:初等科6回
- ・マイアップレッスン:10,000円/10回
- ・1dayレッスン:500円/回

※詳細はさくらきもの学院事務局まで



By:お藤